

## （主な意見・質問）

（問）川上小学校の保護者は、統合に対する賛否の割合はどのくらいか。

（答）以前の保護者説明会では、統合に対する賛否を聞いていたが、今回の後期計画では、保護者説明会での賛否は問わず、概ねの理解が得られたら次に進めていく方針である。川上小学校の1回目の保護者説明会は、反対意見もあったが、2回目の説明会では、統合した場合の質問が多くあり、概ね保護者の理解が得られたと思っている。

（問）川上小の児童数は一定数いると思っているので、2～3年でもいいので、統合を先延ばしてほしい。それと、もし、統合した場合、宇和島バスを利用するのであれば、例えば八代中の前で一旦降りて、歩いて神山小に通うことになると、JAの前は押しボタン式で、スピードを出す車も多く危険な場所である。また、子どもたちが帰宅する時に、自宅に帰る子と塾がある子では帰宅時間が違って来るが、その場合、タクシーを利用するなど、保護者の負担がかからないようにできるのか。

（答）以前、前期計画の時の保護者説明会でもそのような意見があり、宇和島バスに八代中から祇園橋を右折して神山小へ行くことはできないかと相談したが、それは難しいとの回答だったので、小学生は路線バスではなく、スクールバスを利用することを考えている。また、川上地区の子どもたちは、学校の諸活動が終わったら、スクールバスに乗って川上地区まで帰り、地元の児童クラブを利用し、保護者はそこに迎えに行く方が良いのではないかと考えている。

（問）年に数回、川上小学校の体育館で地区の球技大会やイベントなどを行っているのですが、学校が統合しても、体育館は取り壊さず、継続して利用させてほしい。また、その要望をいつまでに市や教育委員会に提出する必要があるのか。

（答）体育館については、鉄筋コンクリート造りで、新耐震にも対応しているので、統合後も存続する方向で考えている。今までに閉校した学校の体育館やグラウンドは、社会体育施設として残っている場合が多いので、地域で利用することは問題ないと考えている。

（問）川上小の子どもたちから神山小学校などの大人数の学校で勉強したいという要望が上がっているのか。

（答）子どもたち1人1人には聞いていないが、保護者説明会の中でも感じたが、複式解消のため、現在ある環境よりも大きい規模の学校で学ばせたいと保護者は思っていると思う。

（問）一人でも反対意見があれば、統合は前に進まないという報道番組で見たことがあるが、保護者説明会で反対した保護者はいなかったのか。

（答）1回目、2回目ともに保護者説明会は、参観日に合わせて行ったので、学校に通う子どもがいる世帯はほとんど参加されていたと思うが、その中で出された意見は、ほとんどが統合した場合の要望であった。

（問）保護者説明会は、学校と相談しながら日程調整をしたのか。

（答）日程は学校に確認している。参観日に合わせた方が保護者も参加しやすいということで、1回

目、2回目ともに保護者説明会は参観日に合わせた。

(問) 今回の地域説明会の参加人数は 25 名弱であるが、この参加人数の意見や要望だけで概ねの理解があったとするのか。それとも 2 回目の地域説明会を実施する予定はあるのか。

(答) 小学校の場合は、この地域説明会の後に地区協議会を設置する予定で、委員には地区の代表者になってもらい、この場に出された意見や要望等を協議していくことを考えている。それに並行して統合準備委員会を立ち上げていく予定である。

(意見) 地区協議会の委員の選任は、誰が決めるのか。今日の説明会に参加する時に、まだ保育所に通っていない子どもがいるお母さんに声掛けしたが、それほど統合に対する実感がいいのか参加されなかった。ただ、そういった保護者の声も聞く必要があると思うので、未就学児の保護者も委員に入れてほしい。

(答) 地区協議会は、対象校区ごとに設置するので、構成メンバーは多少変わってくると思う。学校関係者、公民館長、PTA 役員と相談して、川上地区の代表者を選任していきたいと思う。未就学児の保護者を代表者に加えることも検討する。

(意見) 統合後、スクールバスで通うようになれば、今よりも 1 時間早く子どもを起こさないと学校に間に合わないと思う。間に合わないから親が学校に連れていくようでは、農作業にも影響するので、スクールバスの利用方法について、保護者の意見を十分に聞いてほしい。

(答) 保護者の意見を聞きながら、スクールバスの利用方法について検討する。

(意見) この表を見ると、令和 12 年度の川上小の児童数が 34 人になるということで、人数が減るかと思ったら、川上地区の子どもの数は増加することが予想されている。その時には、スクールバス 1 台では 34 人全員が乗れないのではないかと思う。大きなバスだと小回りが利かず危ないので、バスを 2 台用意してほしい。

(答) スクールバス 1 台に全員が乗れない場合、人数にもよるが、ジャンボタクシーなどを利用して、柔軟に対応する。また、神山小学校の乗降場所については、旧神山幼稚園の園庭をロータリーに改修し、校内で子どもたちが乗降できるように考えている。

(意見) 川上地区は、ひびき集会でお神楽を奉納するなど、地域と密着した子ども時代を過ごす生活をしている。この地域の良い環境を今後も残せるように対策を講じてほしい。

(答) ひびき集会は、地域の人達の支えがないと成り立たないし、子どもたちが大人になったら、大人神楽をしたいと思う子どもたちも育っている。川上地区特有の良い文化だと感じているので、保護者説明会でも、そういう伝統文化を残してほしいとお願いした。ただ、神楽保存会の考え方としては、このひびき集会は 20 年ぐらい前に学校からの要望で始まったので、統合により学校からの要望がなければ、今までのように授業で教えたりすることはないが、もし新しい学校から総合的な学習の時間等で、地域伝統芸能というテーマで子どもたちが集まり、お神楽をするので教えてほしいと依頼があれば、川上地区の子どもに限らず、新しい学校の子どもたちにも教えると伺っている。新しい学校では、どのようにしていくかはこの場では答えることはできないが、伝統文化を大事にしたいという思いはある。

(問) 川上地区の柱祭りや春の祭りは、土日開催で、2日間とも子どもたち全員が参加するような盛大なお祭りである。もし、統合になった場合、土日に参加した子どもたちの振替休日を設定することは可能なのか。

(答) 保内中学校の場合であれば、磯崎地区や宮内地区など、当時はお祭りの日が決まっていて、地区ごとに祭りの日が違っていたと思うので、お祭りに参加する子どもは公欠にしていたと思う。その場合は、振替休日は必要ないが、新しい小学校に通う子どもたちの地区のお祭りの日が土日開催だった場合の振替休日をどうするかについては、この場で即答はできない。

(問) 統合に賛成であるが、気になる点がある。この前、松山市で大雨による土砂崩れがあったが、統合後の新しい学校の避難場所はどこになるのか。もし大きな地震が起きて、通行止めになり、子どもを迎えに行くことができない場合、どのように対応するのか教えてほしい。

(答) 市内の学校は、全て避難所に指定されている。この神山地区であれば、神山小学校や神山公民館、その周辺の中学校、保育所が避難所になっている。もし南海トラフ地震による津波が来たら、海岸線は通れなくなることが予想されるため、その場合は、神山地区の人たちや学校の先生の協力を得ながら避難所を開設する。海岸線が通れるようになれば、子どもたちを迎えに行くことになると思う。

(意見) 先ほど神楽保存会が新しい小学校から依頼があれば協力するということがあったが、人数の少ない川上地区の子どもたちが統合した学校でお神楽をしたいと声を上げたとしても、他の地区の子どもたちを巻き込んでお神楽を続けていくことは難しいように思う。これからどんどん時代も変わっていく中で、子どもたちも大きい学校で学ぶことは良いことだと思うので、私も統合には賛成であるが、お神楽などの地域行事は存続してほしい。

(問) 川上地区では、ひびき集会の他にも食育関係で5年生が授業の中で田植え体験を行っている。私の父の代から続けているが、あくまでも学校からの要望で始まったと聞いている。これと似たようなことを双岩小学校でも行っていると思うが、新しい学校でも続けていくことを考えているのか。

(答) 統合になった時には、全校児童を対象に田植えなどの農業体験をすることは難しいと思うので、学年を限定して農業体験をすることも考えられる。その場合は、子どもたちの送迎は教育委員会で対応するので、双岩地区や川上地区の力を借りて、続けていきたいと考えている。

(問) 今回、初めて地域説明会に参加し、保護者説明会での質疑応答集を見たが、保護者目線で聞きたいことと、その回答が分かりやすく書かれていたので参加して良かった。ただ、この小学校の再編計画の協議の進め方や決定事項などの情報を保育所等にも周知しているのか。

(答) 保護者説明会を開催する時に、小学校と対象校区の保育所の保護者に参加を呼び掛けている。今日、皆さんに配布している説明資料や質疑応答集については、市のホームページにも掲載しているので、いつでも見ることができる。

(意見) 小学校の編成計画については、小学校に通っている保護者から聞いていたので知っていたが、このような資料がホームページに掲載していることは知らなかったため、まだ保育所に通っていない

子どもがいるお母さんが集う子育てサロンなどにも周知してほしい。

(答) 今の意見を参考に、子育て支援課や保健センターなどと連携しながら、周知していきたいと思う。

(問) 学校再編・統合の方向づけについて了承を得られれば、総合準備委員会を設置すると書かれているが、総合準備委員会というのは、統合に対して疑問に思っている様々なことを具体的に協議する場であるという認識でいいのか。また、その委員会に選任される委員はどのような人達を予定しているのか。

(答) 中学校 3 校の総合準備委員会では、新しい学校名、校章、校歌、校訓、体操服、通学カバン、制服など、様々なことを協議し、決定していく場である。その委員は、中学校の校長・教頭、公民館長、中学校の P T A 会長・副会長、対象校区の小学校の P T A 会長である。

(意見) 私は学校再編に反対の立場である。今まで川上小学校の保護者の意見しか聞いていないと思うが、子どもたちの意見を聞けば、絶対に統合したくないと思っていると思う。複式学級の解消と言われたが、複式学級により、子どもたちは先生に丁寧に教えてもらえるので、学力が高かったと聞いている。小学校を卒業し、八代中学校に行っても、学力が劣っている子どもたちはあまりいないと思う。また、先ほどから意見が出ているひびき集会での神楽や田植えなど、川上小学校ならではの行事もあるので、これらを残していく上でも、あと何年かは統合を待ってほしい。以前の保護者説明会の時には、子どもの数が 20 名前後になれば、統合を考えてほしいと保護者からの強い要望があり、絶対に川上小学校は閉校しないという雰囲気だったと思う。

(答) 私自身も布喜川小学校の卒業生で、6 年間複式を経験しているので、複式を否定するつもりもなく、複式の良さも十分知っているつもりでいる。現在、小中学校に 1 人 1 台端末のタブレットを導入しているが、川上小学校の複式学級の指導では、先生が直接指導をしていない時間帯はタブレットを活用して学習ができるように工夫している。ただ、1 人 1 人の個性も大切にしながらも、複式を解消し、より大きな集団の中で、その子どもたちが切磋琢磨し、成長することが大事ではないかと思っている。

(意見) 川上地区は人口減少続き、市内全体でも人口減少が続いている中で、この海岸地区では、婚活イベントに力を入れている。地域おこし協力隊も川上地区に来てもらうようお願いするなど、地域全体で頑張っているのに、川上小学校が閉校したら、今頑張っている人たちが少しずつなくなり、地域が寂れてしまうのではないかと心配する。

(意見) 先日、学校のプールで子どもが足を擦りむく怪我をした。本人の行動もいけなかったかもしれないが、施設の劣化が原因だと思い、先生に修繕を依頼したところ、あと 1 年だから修繕の優先順位が下げられているかもしれないと言われた。あと 1 年でも子どもたちは学校に通うので、きちんと施設整備をしてほしい。

(答) 統合に関係なく、子どもたちの安全に関わる事については、すぐに対応している。明日、学校施設の担当者に現地確認するよう指示する。